

令和 2 年度

長野市各財産区特別会計

決算審査意見書

松代財産区

豊栄財産区

西寺尾本郷財産区

今井財産区

信級財産区

日原財産区

長野市監査委員

3 監査第68号
令和3年8月31日

長野市各財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	布目裕喜雄
同	松田光平

令和2年度長野市各財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度長野市各財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
	松代財産区特別会計	2
	豊栄財産区特別会計	4
	西寺尾本郷財産区特別会計	6
	今井財産区特別会計	8
	信級財産区特別会計	10
	日原財産区特別会計	12
第 5	意 見	14

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和2年度長野市各財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和2年度長野市各財産区特別会計の決算

松代財産区特別会計
豊栄財産区特別会計
西寺尾本郷財産区特別会計
今井財産区特別会計
信級財産区特別会計
日原財産区特別会計

上記各財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書
実質収支に関する調書
財産に関する調書

第2 審査の期間

令和3年6月30日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、各財産区特別会計の決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

松代財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,749,047 円に対する歳出決算額は 754,842 円で、歳入歳出差引残額 994,205 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	826,000	826,372	826,372	0	0	100.0	100.0
繰越金	332,000	922,671	922,671	0	0	277.9	100.0
繰入金	100,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合計	1,260,000	1,749,047	1,749,047	0	0	138.8	100.0
元年度	1,290,000	1,750,156	1,750,156	0	0	135.7	100.0
比較増減	△30,000	△1,109	△1,109	0	0	3.1 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	97.7	99.9	99.9	—	—	—	—

収入済額は 1,749,047 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 922,671 円及び財産収入 826,372 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	1,230,000	754,842	0	475,158	61.4
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	1,260,000	754,842	0	505,158	59.9
元年度	1,290,000	827,485	0	462,515	64.1
比較増減	△30,000	△72,643	0	42,643	△4.2ポイント
前年度対比	97.7	91.2	—	109.2	—

支出済額は 754,842 円で、予算現額に対して 59.9%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林(㎡)	3,411,494	0	3,411,494	0	0	0
立 木(㎡) (推定蓄積量)	62,924	579	63,503	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	311,200	0	311,200
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	411,200	0	411,200

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,559,000	0	23,559,000

豊栄財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 251,442 円に対する歳出決算額は 14,280 円で、歳入歳出差引残額 237,162 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	20,000	20,839	20,839	0	0	104.2	100.0
繰越金	207,000	230,601	230,601	0	0	111.4	100.0
分担金及び負担金	1,000	0	0	0	0	0.0	—
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合計	230,000	251,442	251,442	0	0	109.3	100.0
元年度	220,000	244,805	244,805	0	0	111.3	100.0
比較増減	10,000	6,637	6,637	0	0	△2.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	104.5	102.7	102.7	—	—	—	—

収入済額は 251,442 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 230,601 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	180,000	14,280	0	165,720	7.9
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合計	230,000	14,280	0	215,720	6.2
元年度	220,000	14,204	0	205,796	6.5
比較増減	10,000	76	0	9,924	△0.3ポイント
前年度対比	104.5	100.5	—	104.8	—

支出済額は 14,280 円で、予算現額に対して 6.2%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林(㎡)	225,771	0	225,771	0	0	0
立 木(㎡) (推定蓄積量)	19,280	146	19,426	—	—	—

西寺尾本郷財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 553,133 円に対する歳出決算額は 356,033 円で、歳入歳出差引残額 197,100 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	23,000	22,694	22,694	0	0	98.7	100.0
繰越金	232,000	217,437	217,437	0	0	93.7	100.0
繰入金	313,000	313,000	313,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	2	2	0	0	0.1	100.0
合計	570,000	553,133	553,133	0	0	97.0	100.0
元年度	520,000	523,082	523,082	0	0	100.6	100.0
比較増減	50,000	30,051	30,051	0	0	△3.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	109.6	105.7	105.7	—	—	—	—

収入済額は 553,133 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 313,000 円及び繰越金 217,437 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	540,000	356,033	0	183,967	65.9
予備費	30,000	0	0	30,000	0.0
合計	570,000	356,033	0	213,967	62.5
元年度	520,000	305,645	0	214,355	58.8
比較増減	50,000	50,388	0	△388	3.7ポイント
前年度対比	109.6	116.5	—	99.8	—

支出済額は 356,033 円で、予算現額に対して 62.5%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地及び建物の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
原野(畑)	20,132	0	20,132	0	0	0

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	4,970,000	△313,000	4,657,000

今井財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 510,131 円に対する歳出決算額は 400,888 円で、歳入歳出差引残額 109,243 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	178,000	174,269	174,269	0	0	97.9	100.0
繰越金	101,000	131,862	131,862	0	0	130.6	100.0
繰入金	401,000	204,000	204,000	0	0	50.9	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	682,000	510,131	510,131	0	0	74.8	100.0
元年度	798,000	516,899	516,899	0	0	64.8	100.0
比較増減	△116,000	△6,768	△6,768	0	0	10.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	85.5	98.7	98.7	—	—	—	—

収入済額は 510,131 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰入金 204,000 円及び財産収入 174,269 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	672,000	400,888	0	271,112	59.7
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	682,000	400,888	0	281,112	58.8
元年度	798,000	385,037	0	412,963	48.3
比較増減	△116,000	15,851	0	△131,851	10.5ポイント
前年度対比	85.5	104.1	—	68.1	—

支出済額は 400,888 円で、予算現額に対して 58.8%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林(㎡)	730,586	0	730,586	0	0	0
立 木(㎡) (推定蓄積量)	15,050	73	15,123	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	27,900	0	27,900

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,904,000	△204,000	5,700,000

信級財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 177,714 円に対する歳出決算額は 55,964 円で、歳入歳出差引残額 121,750 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	165	165	0	0	5.5	100.0
繰越金	171,000	177,548	177,548	0	0	103.8	100.0
諸収入	2,000	1	1	0	0	0.1	100.0
合計	176,000	177,714	177,714	0	0	101.0	100.0
元年度	880,000	877,440	877,440	0	0	99.7	100.0
比較増減	△704,000	△699,726	△699,726	0	0	1.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	20.0	20.3	20.3	—	—	—	—

収入済額は 177,714 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 177,548 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	126,000	55,964	0	70,036	44.4
予備費	50,000	0	0	50,000	0.0
合計	176,000	55,964	0	120,036	31.8
元年度	880,000	699,892	0	180,108	79.5
比較増減	△704,000	△643,928	0	△60,072	△47.7ポイント
前年度対比	20.0	8.0	—	66.6	—

支出済額は 55,964 円で、予算現額に対して 31.8%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	367,950.00	0	367,950.00	0	0	0
原 野	157,940.00	0	157,940.00	0	0	0
保 安 林	41,475.00	0	41,475.00	0	0	0
雑 種 地	297.00	0	297.00	0	0	0
宅 地	39.66	0	39.66	0	0	0
田	36.00	0	36.00	0	0	0
畑	416.00	0	416.00	0	0	0
合 計	568,153.66	0	568,153.66	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	10,514.9	81.7	10,596.6	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	1,650,000	0	1,650,000

日原財産区特別会計

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 140,938 円に対する歳出決算額は 33,840 円で、歳入歳出差引残額 107,098 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	80	80	0	0	2.7	100.0
繰越金	140,000	140,858	140,858	0	0	100.6	100.0
諸収入	2,000	0	0	0	0	0.0	—
合計	145,000	140,938	140,938	0	0	97.2	100.0
元年度	179,000	175,050	175,050	0	0	97.8	100.0
比較増減	△34,000	△34,112	△34,112	0	0	△0.6 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	81.0	80.5	80.5	—	—	—	—

収入済額は 140,938 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、繰越金 140,858 円である。

(2) 歳出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
総務費	135,000	33,840	0	101,160	25.1
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合計	145,000	33,840	0	111,160	23.3
元年度	179,000	34,192	0	144,808	19.1
比較増減	△34,000	△352	0	△33,648	4.2ポイント
前年度対比	81.0	99.0	—	76.8	—

支出済額は 33,840 円で、予算現額に対して 23.3%の執行率である。

支出済額は、全額総務費である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	475,652	0	475,652	0	0	0
原 野	33,759	0	33,759	0	0	0
保 安 林	21,844	0	21,844	0	0	0
雑 種 地	224	0	224	0	0	0
畑	228	0	228	0	0	0
合 計	531,707	0	531,707	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	12,602.7	76.5	12,679.2	—	—	—

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	800,000	0	800,000

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

令和 2 年度

長野市東条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

3 監査第69号
令和3年8月31日

長野市東条財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	布目裕喜雄
同	松田光平

令和2年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度長野市東条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	3

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和2年度長野市東条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和2年度長野市東条財産区特別会計決算

東条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和3年6月30日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 848,630 円に対する歳出決算額は 346,589 円で、歳入歳出差引残額 502,041 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	3,000	1,751	1,751	0	0	58.4	100.0
繰越金	425,000	436,874	436,874	0	0	102.8	100.0
繰入金	410,000	410,000	410,000	0	0	100.0	100.0
諸収入	2,000	5	5	0	0	0.3	100.0
合 計	840,000	848,630	848,630	0	0	101.0	100.0
元年度	710,000	713,259	713,259	0	0	100.5	100.0
比較増減	130,000	135,371	135,371	0	0	0.5 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	118.3	119.0	119.0	—	—	—	—

収入済額は 848,630 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。
収入済額の主なものは、繰越金 436,874 円及び繰入金 410,000 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	98,000	79,992	0	18,008	81.6
総務費	732,000	266,597	0	465,403	36.4
予備費	10,000	0	0	10,000	0.0
合 計	840,000	346,589	0	493,411	41.3
元年度	710,000	276,385	0	433,615	38.9
比較増減	130,000	70,204	0	59,796	2.4ポイント
前年度対比	118.3	125.4	—	113.8	—

支出済額は 346,589 円で、予算現額に対して 41.3%の執行率である。
支出済額の主なものは、総務費 266,597 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	16,179	0	16,179	0	0	0
宅 地	940	0	940	0	0	0
原 野	186,111	0	186,111	0	0	0
そ の 他	8,060	0	8,060	0	0	0
合 計	211,290	0	211,290	0	0	0
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	5,416	3	5,419	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	10,500	0	10,500

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	17,767,742	△410,000	17,357,742

第5 意 見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。

令和 2 年度

長野市西条財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

3 監査第70号
令和3年8月31日

長野市西条財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	布目裕喜雄
同	松田光平

令和2年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度長野市西条財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和2年度長野市西条財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和2年度長野市西条財産区特別会計決算

西条財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和3年6月30日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 1,202,830 円に対する歳出決算額は 671,597 円で、歳入歳出差引残額 531,233 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	104,000	102,367	102,367	0	0	98.4	100.0
繰越金	417,000	389,032	389,032	0	0	93.3	100.0
繰入金	677,000	677,000	677,000	0	0	100.0	100.0
分担金及び負担金	46,000	34,427	34,427	0	0	74.8	100.0
諸収入	2,000	4	4	0	0	0.2	100.0
合 計	1,246,000	1,202,830	1,202,830	0	0	96.5	100.0
元年度	1,300,000	1,307,124	1,307,124	0	0	100.5	100.0
比較増減	△54,000	△104,294	△104,294	0	0	△4.0 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	95.8	92.0	92.0	—	—	—	—

収入済額は 1,202,830 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。
収入済額の主なものは、繰入金 677,000 円及び繰越金 389,032 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	382,000	370,212	0	11,788	96.9
総務費	533,000	276,213	0	256,787	51.8
林業費	254,000	25,172	0	228,828	9.9
林道費	42,000	0	0	42,000	0.0
予備費	35,000	0	0	35,000	0.0
合 計	1,246,000	671,597	0	574,403	53.9
元年度	1,300,000	918,092	0	381,908	70.6
比較増減	△54,000	△246,495	0	192,495	△16.7ポイント
前年度対比	95.8	73.2	—	150.4	—

支出済額は 671,597 円で、予算現額に対して 53.9%の執行率である。
支出済額の主なものは、議会費 370,212 円及び総務費 276,213 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

(単位 m²)

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林	576,525	0	576,525	0	0	0
原 野	594,338	0	594,338	0	0	0
事 務 所	528	0	528	447	0	447
合 計	1,171,391	0	1,171,391	447	0	447
立 木 (m ³) (推定蓄積量)	85,364.23	△724.50	84,639.73	—	—	—

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	733,000	0	733,000
長野県林業センター	100,000	0	100,000
合 計	833,000	0	833,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,725,000	△677,087	23,047,913

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

令和 2 年度

長野市大岡中牧財産区特別会計

決算審査意見書

長野市監査委員

3 監査第71号
令和3年8月31日

長野市大岡中牧財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	布目裕喜雄
同	松田光平

令和2年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和2年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和2年度長野市大岡中牧財産区特別会計決算

大岡中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和3年6月30日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 6,676,509 円に対する歳出決算額は 5,748,884 円で、歳入歳出差引残額 927,625 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	5,290,000	5,406,531	5,406,531	0	0	102.2	100.0
繰入金	800,000	800,000	800,000	0	0	100.0	100.0
繰越金	469,000	469,956	469,956	0	0	100.2	100.0
諸収入	2,000	22	22	0	0	1.1	100.0
合 計	6,561,000	6,676,509	6,676,509	0	0	101.8	100.0
元年度	5,443,000	5,462,137	5,462,137	0	0	100.4	100.0
比較増減	1,118,000	1,214,372	1,214,372	0	0	1.4 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	120.5	122.2	122.2	-	-	-	-

収入済額は 6,676,509 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。
収入済額の主なものは、財産収入 5,406,531 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議会費	209,000	174,796	0	34,204	83.6
総務費	6,319,000	5,574,088	0	744,912	88.2
予備費	33,000	0	0	33,000	0.0
合 計	6,561,000	5,748,884	0	812,116	87.6
元年度	5,443,000	4,992,181	0	450,819	91.7
比較増減	1,118,000	756,703	0	361,297	△4.1ポイント
前年度対比	120.5	115.2	-	180.1	-

支出済額は 5,748,884 円で、予算現額に対して 87.6%の執行率である。
支出済額の主なものは、総務費 5,574,088 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林(㎡)	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木(㎡) (推定蓄積量)	58,826	353	59,179	—	—	—

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長 野 森 林 組 合	176,000	0	176,000

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	23,677,157	△742,941	22,934,216
有 価 証 券	10,000,000	0	10,000,000
合 計	33,677,157	△742,941	32,934,216

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 ㎡)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※信州新町中牧財産区と共有 大岡中牧財産区分は 737/1,000

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

基金現在高が多額となっており、財産区住民の福祉の増進のために計画的に活用
されたい。

今後、立木の販売による収入が見込まれる際には、長野市の事業に充てることも
検討されたい。

令和 2 年 度

長野市信州新町中牧財産区特別会計

決 算 審 査 意 見 書

長野市監査委員

3 監査第72号
令和3年8月31日

長野市信州新町中牧財産区
長野市長 加藤久雄様

長野市監査委員	西島勉
同	榑原剛
同	布目裕喜雄
同	松田光平

令和2年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された、令和2年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算及びその附属書類を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の結果	1
1	決算の概況	2
2	財産に関する調書	3
第 5	意 見	4

(注) 比率 (%) 及び構成比率 (%) は、小数点以下第二位を四捨五入した。

令和2年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算審査意見

第1 審査の対象

1 令和2年度長野市信州新町中牧財産区特別会計決算

信州新町中牧財産区特別会計歳入歳出決算書

2 附属書類

歳入歳出決算事項別明細書

実質収支に関する調書

財産に関する調書

第2 審査の期間

令和3年6月30日から8月23日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、決算書及び附属書類が、地方自治法その他関係法令に準拠して作成されているかを確認し、計数が正確であるか、予算の執行が適正かつ効率的に行われているかについて、諸帳簿、証書類と照合するとともに、関係職員の説明聴取を実施した。

なお、例月現金出納検査の結果も参考にして審査した。

第4 審査の結果

決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿と符合し正確であるものと認められた。

また、予算の執行状況は、おおむね適正であるものと認められた。その内容については後述のとおりである。

1 決算の概況

当年度の歳入決算額 2,627,145 円に対する歳出決算額は 1,414,511 円で、歳入歳出差引残額 1,212,634 円が翌年度へ繰り越されている。

(1) 歳 入

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	調 定 額	収入済額	不 納 欠損額	収 入 未済額	収入率	
						対予算現額	対調定額
財産収入	1,868,000	1,926,449	1,926,449	0	0	103.1	100.0
繰入金	205,000	0	0	0	0	0.0	—
繰越金	700,000	700,681	700,681	0	0	100.1	100.0
諸収入	2,000	15	15	0	0	0.8	100.0
合 計	2,775,000	2,627,145	2,627,145	0	0	94.7	100.0
元年度	2,528,000	2,526,884	2,526,884	0	0	100.0	100.0
比較増減	247,000	100,261	100,261	0	0	△5.3 ポイント	0.0 ポイント
前年度対比	109.8	104.0	104.0	—	—	—	—

収入済額は 2,627,145 円で、調定額に対して 100.0%の収納率である。

収入済額の主なものは、財産収入 1,926,449 円である。

(2) 歳 出

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

(単位 円・%)

区分 款別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
議 会 費	292,000	170,752	0	121,248	58.5
総 務 費	2,283,000	1,243,759	0	1,039,241	54.5
予 備 費	200,000	0	0	200,000	0.0
合 計	2,775,000	1,414,511	0	1,360,489	51.0
元年度	2,528,000	1,826,203	0	701,797	72.2
比較増減	247,000	△411,692	0	658,692	△21.2ポイント
前年度対比	109.8	77.5	—	193.9	—

支出済額は 1,414,511 円で、予算現額に対して 51.0%の執行率である。

支出済額の主なものは、総務費 1,243,759 円である。

2 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地、建物及び山林の状況は、次表のとおりである。

区 分	土 地			建 物		
	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
山 林(㎡)	2,953,615	0	2,953,615	0	0	0
立 木(㎡) (推定蓄積量)	58,826	353	59,179	—	—	—

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

出資による権利の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
長野森林組合	62,800	0	62,800

(2) 基 金

基金の状況は、次表のとおりである。

(単位 円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
現 金	5,668,000	0	5,668,000

(3) 管理財産

管理財産の状況は、次表のとおりである。

(単位 ㎡)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
山 林	151,102	0	151,102

※大岡中牧財産区と共有 信州新町中牧財産区分は 263/1,000

第5 意見

財産区の公有財産である山林(立木)等の管理を引き続き適切に実施されたい。
貸付地についても、契約に定める目的に従って適切に使用されているか、
引き続き確認されたい。

